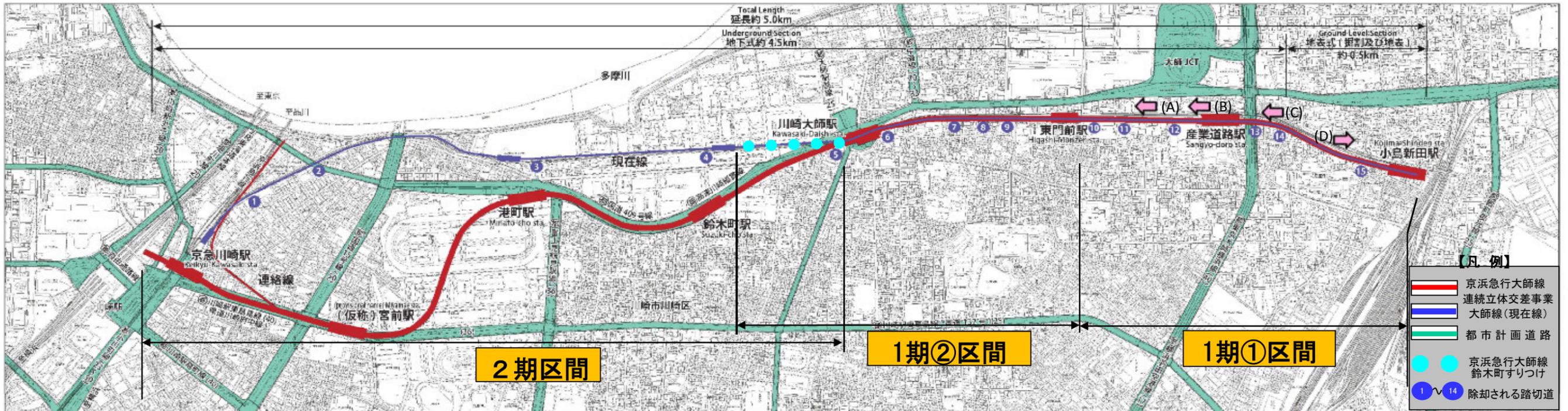


京浜急行大師線連続立体交差事業について

資料



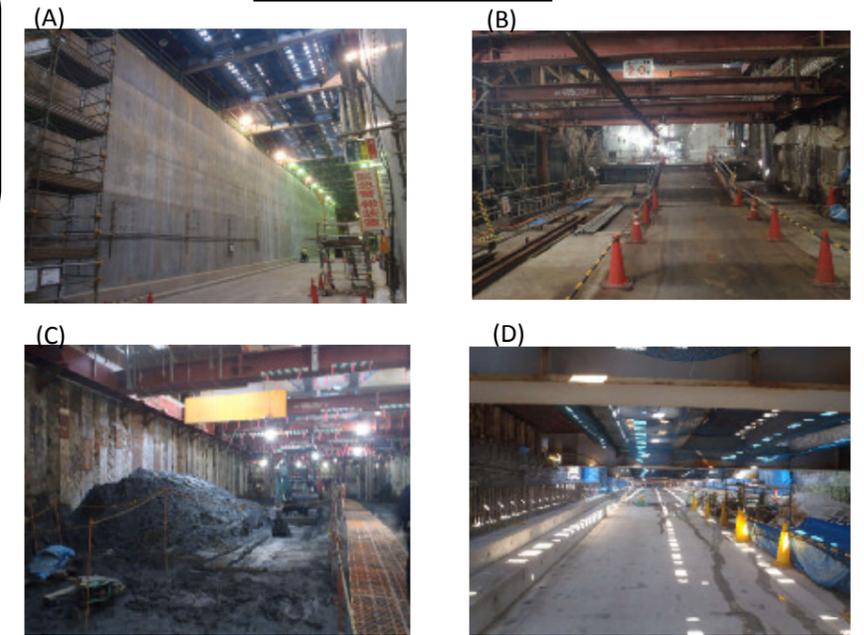
事業概要

- 延長 約5km (地下式約4.5km、地表式約0.5km)
- 踏切除去数 14箇所(内幹線道路踏切4箇所)
- 駅数 8駅(内新駅1)
- 都市計画決定 平成5年6月
- 都市計画事業認可 平成6年3月
- 平成15年3月(変更)
- 平成28年3月(変更予定)

川崎市総合都市交通計画(平成25年3月)

- 1期①区間 A事業 10年以内に事業完了を目指す事業
- 1期②区間 B事業 10年以内に工事着手を目指す事業
- 2期区間 C事業 20年以内に工事着手を目指す事業

工事状況写真



各事業区間の状況

□1期①区間(小島新田～東門前)

1期①区間については、平成30年度の産業道路立体交差化、平成31年度の完了を目指し、工事を進めています。人件費や物価の高騰、工法の変更等により、事業費の増加が見込まれています。現在、鉄道事業者から提示されている増額分の事業費約191億円の工法や単価などの積算内容について検証作業を進めており、平成28年8月頃を目途にとりまとめをしていきたいと考えています。そのため、1期①区間の想定事業費としては、**現行の協定額(約462億円)に増額分(約191億円)を加え、約653億円が上限額**となります。

□1期②区間(東門前～川崎大師 鈴木町すり付け)

1期②区間については、早期工事着手を目指し、現在準備を進めています。事業費については、**1期①区間と延長が同程度で駅が一駅多いことから、1期①区間(想定事業費上限額約653億円)より多くの事業費が必要**となるのが想定されます。なお、1期②区間の事業費については、今後、鉄道事業者と算出作業を進めていきますが、1期①区間の増額要因も踏まえ、平成28年8月頃を目途に算出作業を進めていきたいと考えています。

□2期区間(川崎大師～京急川崎)

2期区間については、川崎市総合都市交通計画で中長期の計画として位置づけたとおり、直ちに工事着手できる状況にないことから、都市計画事業認可の変更において、**事業を休止する方向**で関係機関と調整を進めています。

整備略図

